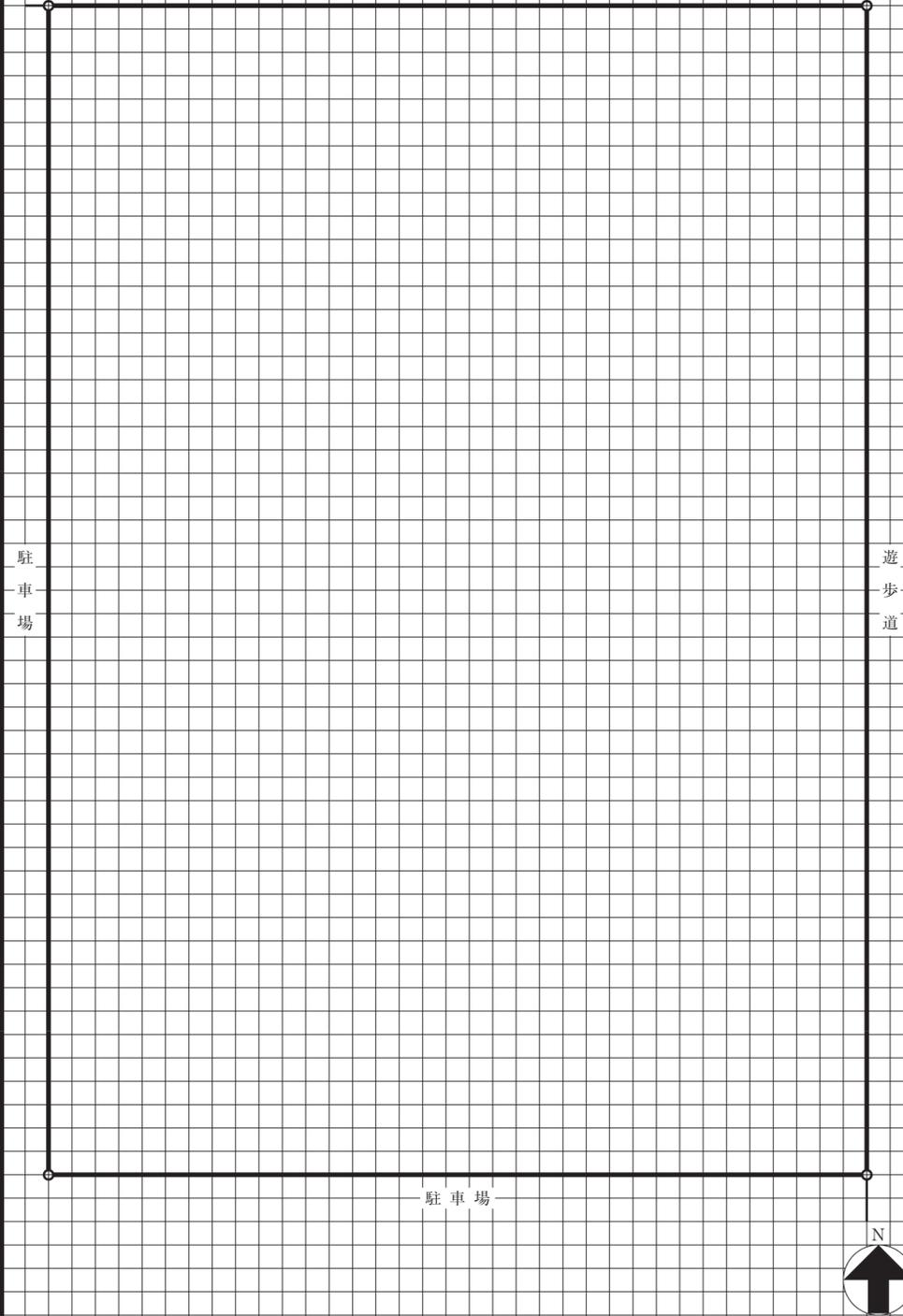


1階平面図兼配置図 縮尺 1/200

道路

2階平面図 縮尺 1/200

2階梁伏図 縮尺 1/200 (2階からの見下げ図とする。)



G.L.

断面図 縮尺 1/200

構造要素の凡例 (必要により、空欄に記入し、図示すること。)

名称	記号

構造部材表 (2階梁伏図に符号を明示する。主要な部材が複数となる場合は空欄に追加記入すること。)

符号	部材	断面寸法 (mm)	符号	部材	断面寸法 (mm)
C1	柱①				
G1	大梁①				
B1	小梁①				
S1	スラブ①				

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

建築物の床面積				合計
1階		2階		
(算定式)		(算定式)		
小計	m ²	小計	m ²	

受験番号

□□□□□□□□□□

試験場

氏名

※下欄には記入しないこと。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

(1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 各部門の構成と配置について工夫したこと

② 休憩・情報スペース、フードコート及び浴室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと

休憩・情報スペース	
フードコート	
浴室	

③ 吹抜けを活かした室内空間とするために工夫したこと

(2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 採用した構造種別、架構形式を示すとともに、設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)を記述すること

② 吹抜け部分の構造計画について配慮したこと

	(図等により補足してもよい。)

(3) 浴室の給湯設備計画において、「A：ガス又は油の燃焼によるボイラー(温水ヒーター)方式」又は「B：電動空冷ヒートポンプ方式」の給湯熱源方式について平面計画上、配慮すべきことを記述し、採用した熱源方式(A又はBのいずれかを選択し、その記号を記入する。)及び採用した理由を記述する。

A：ガス又は油の燃焼によるボイラー(温水ヒーター)方式 平面計画上、配慮すべきこと：	
B：電動空冷ヒートポンプ方式 平面計画上、配慮すべきこと：	
記号	採用した理由：

(4) フードコートの省エネルギー計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築計画において、冷暖房負荷削減及び自然通風について工夫したこと(建築材料のみの記述は不可。)

冷暖房負荷削減：
自然通風：

② 空調設備計画において、空調用エネルギーを削減するために考慮した省エネルギー手法について記述すること

試験場	受験番号	氏名
	□□ - □□□□□□	